

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 4 区分

【発行日】平成22年1月28日 (2010.1.28)

【公開番号】特開2009-187661(P2009-187661A)

【公開日】平成21年8月20日 (2009.8.20)

【年通号数】公開・登録公報2009-033

【出願番号】特願2009-98991(P2009-98991)

【国際特許分類】

G 1 1 B 27/00 (2006.01)

G 1 1 B 27/034 (2006.01)

G 1 1 B 27/10 (2006.01)

G 1 1 B 20/10 (2006.01)

H 0 4 N 5/93 (2006.01)

H 0 4 N 5/85 (2006.01)

【 F I 】

G 1 1 B 27/00 D

G 1 1 B 27/034

G 1 1 B 27/10 A

G 1 1 B 20/10 3 2 1 Z

H 0 4 N 5/93 Z

H 0 4 N 5/85 Z

【手続補正書】

【提出日】平成21年12月9日 (2009.12.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

再生装置であって、

デジタルストリームと、前記デジタルストリームの再生経路を示す再生経路情報と、前記再生経路情報を管理する第 1 及び第 2 のオブジェクトデータと、前記第 1 のオブジェクトデータを参照するタイトルと前記第 2 のオブジェクトデータを参照するタイトルを含むテーブル情報と、を記憶媒体から読み出す読み出し手段と、

前記読み出された第 1 及び第 2 のオブジェクトデータを実行するモジュールと、

ユーザからメニューコールを受け付ける受付手段と、

を備え、

前記第 1 のオブジェクトデータは、メニューコールを実行するか否かを示すメニューコールマスクフラグと、前記第 1 のオブジェクトデータをレジュームするか否かを示すレジュームフラグと、を含み、

前記再生装置は、

前記第 1 のオブジェクトデータの実行中にメニューコールが受け付けられた場合に、

前記第 1 のオブジェクトデータに含まれるメニューコールマスクフラグに応じて、前記メニューコールを実行するか否かを制御し、

前記メニューコールが実行される場合に、前記第 1 のオブジェクトデータに含まれているレジュームフラグに応じて、前記第 1 のオブジェクトデータの実行をレジュームするか否かを制御し、前記テーブル情報を用いて前記第 2 のオブジェクトデータを実行する、

ことを特徴とする再生装置。

【請求項 2】

再生方法であって、

デジタルストリームと、前記デジタルストリームの再生経路を示す再生経路情報と、前記再生経路情報を管理する第 1 及び第 2 のオブジェクトデータと、前記第 1 のオブジェクトデータを参照するタイトルと前記第 2 のオブジェクトデータを参照するタイトルを含むテーブル情報と、を記憶媒体から読み出す、ステップと、

前記読み出された第 1 及び第 2 のオブジェクトデータを実行する、ステップと、

ユーザからメニューコールを受け付ける、ステップと、

を備え、

前記第 1 のオブジェクトデータは、メニューコールを実行するか否かを示すメニューコールマスクフラグと、前記第 1 のオブジェクトデータをレジュームするか否かを示すレジュームフラグと、を含み、

前記再生方法は、

前記第 1 のオブジェクトデータの実行中にメニューコールが受け付けられた場合に、

前記第 1 のオブジェクトデータに含まれるメニューコールマスクフラグに応じて、前記メニューコールを実行するか否かを制御し、

前記メニューコールが実行される場合に、前記第 1 のオブジェクトデータに含まれているレジュームフラグに応じて、前記第 1 のオブジェクトデータの実行をレジュームするか否かを制御し、前記テーブル情報を用いて前記第 2 のオブジェクトデータを実行する、ことを特徴とする再生方法。

【請求項 3】

デジタルストリームと、

前記デジタルストリームの再生経路を示す再生経路情報と、

前記再生経路情報を管理する第 1 及び第 2 のオブジェクトデータと、

前記第 1 のオブジェクトデータを参照するタイトルと前記第 2 のオブジェクトデータを参照するタイトルを含むテーブル情報と、

を記録しており、

前記第 1 のオブジェクトデータは、メニューコールを実行するか否かを示すメニューコールマスクフラグと、前記第 1 のオブジェクトデータをレジュームするか否かを示すレジュームフラグと、を含み、

前記第 1 のオブジェクトデータは、さらに、

前記第 1 のオブジェクトデータの実行中にユーザからのメニューコールが受け付けられた場合に、

前記第 1 のオブジェクトデータに含まれるメニューコールマスクフラグに応じて、前記メニューコールを実行するか否かを制御し、

前記メニューコールが実行される場合に、前記第 1 のオブジェクトデータに含まれているレジュームフラグに応じて、前記第 1 のオブジェクトデータの実行をレジュームするか否かを制御され、

前記第 2 のオブジェクトデータは、前記メニューコールが実行される場合に、前記インデックステーブルを用いて、実行される、

ことを特徴とする記録媒体。

【請求項 4】

デジタルストリームと、前記デジタルストリームの再生経路を示す再生経路情報と、前記再生経路情報を管理する第 1 及び第 2 のオブジェクトデータと、前記第 1 のオブジェクトデータを参照するタイトルと前記第 2 のオブジェクトデータを参照するタイトルを含むテーブル情報と、を記録媒体に記録する記録手段を備え、

前記第 1 のオブジェクトデータは、メニューコールを実行するか否かを示すメニューコールマスクフラグと、前記第 1 のオブジェクトデータをレジュームするか否かを示すレジュームフラグと、を含み、

前記第 1 のオブジェクトデータは、さらに、

前記第 1 のオブジェクトデータの実行中にユーザからのメニューコールが受け付けられた場合に、

前記第 1 のオブジェクトデータに含まれるメニューコールマスクフラグに応じて、前記メニューコールを実行するか否かを制御し、

前記メニューコールが実行される場合に、前記第 1 のオブジェクトデータに含まれているレジュームフラグに応じて、前記第 1 のオブジェクトデータの実行をレジュームするか否かを制御され、

前記第 2 のオブジェクトデータは、前記メニューコールが実行される場合に、前記テーブル情報を用いて、実行される、

ことを特徴とする記録装置。

【請求項 5】

デジタルストリームと、前記デジタルストリームの再生経路を示す再生経路情報と、前記再生経路情報を管理する第 1 及び第 2 のオブジェクトデータと、前記第 1 のオブジェクトデータを参照するタイトルと前記第 2 のオブジェクトデータを参照するタイトルとを含むテーブル情報と、を記録媒体に記録するステップを備え、

前記第 1 のオブジェクトデータは、メニューコールを実行するか否かを示すメニューコールマスクフラグと、前記第 1 のオブジェクトデータをレジュームするか否かを示すレジュームフラグと、を含み、

前記第 1 のオブジェクトデータは、さらに、

前記第 1 のオブジェクトデータの実行中にユーザからのメニューコールが受け付けられた場合に、

前記第 1 のオブジェクトデータに含まれるメニューコールマスクフラグに応じて、前記メニューコールを実行するか否かを制御し、

前記メニューコールが実行される場合に、前記第 1 のオブジェクトデータに含まれているレジュームフラグに応じて、前記第 1 のオブジェクトデータの実行をレジュームするか否かを制御され、

前記第 2 のオブジェクトデータは、前記メニューコールが実行される場合に、前記インデックステーブルを用いて、実行される、

ことを特徴とする記録方法。